

# むろらん 市議会だより

発行責任者／室蘭市議会議長  
編集・発行／広報特別委員会

明日へのあゆみ



昭和28年、道内で最初的水族館として開館してから70年を迎えた室蘭水族館は今年4月1日から新名称が『室蘭民報みんなの水族館』となり、新たな一歩を踏み出しました。昭和39年に遊具が設置され、豆汽車は今でも子どもたちに大人気の乗り物です。5月18日には、3年ぶりにフンボルトペンギンのヒナが誕生。生まれたときの体重はおよそ80グラムでしたが、生後24日で1キログラムを超えるなど、お母さんに守られて順調に成長し、愛らしい姿を披露してくれる日が待たれます。ゼニガタアザラシのさつきちゃんはケロリン桶を叩いて「エサをちょうだい」とアピールする姿が可愛いく、SNSでも話題となっています。今年はたくさんの人気者が水族館を盛り上げてくれることでしょう。

## 令和5年第2回室蘭市議会定例会日程

- 6月 5日 本 会 議 (開会、市政方針及び教育行政方針説明、議案説明、議案の議決ほか)
- 6月 9日 本 会 議 (代表質問)
- 6月12日 本 会 議 (代表質問)
- 6月15日 本 会 議 (質疑・一般質問)
- 6月16日 本 会 議 (質疑・一般質問、各委員会への議案付託ほか)
- 6月19日 常任委員会 (総務)
- 6月20日 常任委員会 (民生)
- 6月21日 常任委員会 (経済建設)
- 6月22日 特別委員会 (一般会計予算審査)
- 6月23日 特別委員会 (一般会計予算審査)
- 6月26日 特別委員会 (特別会計予算審査)
- 6月27日 委 員 会 (議会運営)
- 6月28日 本 会 議 (各種議案の議決ほか、閉会)

## 第2回定例会開催

令和5年第2回室蘭市議会定例会が、日程のとおり、24日間の会期で開催されました。

今回の市議会定例会は、市長提出議案として補正予算2件、条例改正などを含む議案13件、議員提出議案として議案1件、意見書案7件について、審議・議決しました。

# 代表質問



和 結 政 市  
しずお かつま わが  
静 夫 妻 我

## 安心できるまちづくりについて

〔問〕 高校生までの医療費助成拡充の考えは。

〔答〕 課税区分を問わず就学前から高校生まで入院・通院を対象としたい。

〔問〕 登別市は独自拡大で先行しているが、3市で定並みを揃えることの考えは。

〔答〕 拡充効果を考え、可能な範囲で3市協議をしている。

〔問〕 地域医療の連携・再編協議会のワーキンググループの目的と位置付け、役割は。

〔答〕 3病院の事務長で構成する協議会の分科会であり、協議会に諮る前の議題の論点整理や連携を目的に設置した。

〔問〕 高砂ベンゼン問題解決に向けて、公営企業管理者を

各会派の代表質問および答弁から15項目を取り上げ、要旨を紹介します。

充てた人事は多とするが、不安解消には、水道部だけでは物理的、人力的に無理があり、OB職員の応援などで、住民ケアに対応できるチームを編成する考えは。

〔答〕 健康影響調査や土壌・地下水汚染の広がりへの対応などで水道水汚染対策会議を設置しているが、水道部のOB職員などの助言の検討を含め組織体制を検討する。

## ものづくりと世界に貢献する港づくりについて

〔問〕 国土交通省から迎えた白熊副市長の去就は。

〔答〕 洋上風力産業の拠点化など、白熊副市長の派遣期間も含めた支援と協力を求める。

## 北海道PCB廃棄物

### 処理事業について

〔問〕 本市の事業所について施設の有効利用などで国家事業の誘致を視野に入れている

が、現段階の状況は。

〔答〕 事業終了後の施設については、国において活用の可能性が検討されている。

## 市民を守る安全対策について

〔問〕 今後のヒグマ対策は。

〔答〕 地域別にヒグマの有害性に応じた対策を進めるゾーニング管理やドローンの活用、森林部への監視カメラの設置などを講じていく。

## 対話型人工知能について

〔問〕 学校教育におけるチャットGPTに対する考え方は。

〔答〕 文部科学省で「学校現場での取り扱いに関するガイドライン」を策定中であり、その内容を精査し、本市の対応策を検討する。



市民ネット・むろらん  
みずえ かつひろ  
水 江 一 弘

## 公共施設の適正化と

### 財政基盤の確立について

〔問〕 本庁舎の建設は、人口減少で厳しい財政状況になる

ことが懸念されることから、既存ストックの活用で整備費を抑制するとともに事務の効率化による執務スペースの縮小にも対応できるようにすべき。

また、中島地区における新支所の整備については全体の整備計画の中で一体的に整備すべき、見解を伺う。

〔答〕 本庁舎整備については、既存ストックとして学校施設を活用する場合、建て替えと比較して約25億円ほど事業費が抑制されることから、現時点で効果的な手法と考えている。また、中島地区での新支所整備については、既存ストックを活用した本庁舎整備の可能性のほか、広域センタービル庁舎も含めた全体の庁舎配置の中で、新支所の機能や規模も整理することが必要と考えている。

## 中央地区の再生事業の

### 推進について

〔問〕 空洞化が進む中央地区の再生は喫緊の課題である。官と民が連携して地権者との交渉をこれまで以上に強力に行っていくかなければならず、

庁内体制の強化も必要、見解は。

〔答〕 中央地区の再生には何より定住人口を増やすことが重要であると考えられる。空き家・空き地の活用を図れるよう所有者の活用機運を高める取り組みを進める。

また、庁内横断的な対応を図ることができるような庁内体制を構築する。

## だんバラ公園の魅力向上

### について

〔問〕 だんバラ公園の魅力向上を図るため現在の管理委託先である室蘭リゾート開発を廃止し、民間への譲渡を早急に行い、新しい発想で魅力向上を図るべき、見解は。

〔答〕 だんバラ公園の魅力向上に向けては民間ノウハウを生かすことを基本に考える中で、室蘭リゾート開発のあり方についても検討していく。

## スポーツ振興について

〔問〕 道内で屋内スケートリンクを保有している自治体は少ない。だんバラ公園内で屋外スケートリンクとしての開設も検討すべき、見解は。

〔答〕 新和産業アイスアリー

ナ室蘭については他施設の建て替え時期や財政状況などを加味しながら検討する必要がある、規模や使用形態など、さまざまな可能性を模索していく。



公明党室蘭市議会  
かしわぎ たかひさ  
柏木 隆寿

### 婚活支援について

〔問〕 民間のマッチングアプリ活用を決定した背景とアプリ活用における結婚詐欺やデート商法などのリスク対応と責任の所在について。

〔答〕 近年、新たな出会いの場として全国的にマッチングアプリの利用が増えており、市内においても多くの方が利用している実態を踏まえ、アプリを活用した支援を行う。本来の目的以外の利用者との遭遇など、リスクについては原則自己責任となるが、利用者向けのオンラインセミナーを開催するなどリスク低減に向けた取り組みについても事業者と協議をしていく。

### 水道広域連携推進プランについて

〔問〕 本年3月に完成した推進プランの主な内容と今後の連携の考え方は。

〔答〕 ハード連携では、千歳浄水場と幌別浄水場を集約化した場合とチマイベツ浄水場と黄金浄水場を集約した場合の連携効果が示されており、ソフト連携では薬品の購入、水道料金関係業務、水質検査など9項目で広域連携の効果がと試算されている。試算結果や将来の人口減少に伴う給水需要予測などを踏まえ、スケールメリットや水道施設全体のコンパクト化などの検討を進めていく。

### 安心・安全な水の供給について

〔問〕 千歳浄水場の共同利用において登別市と平成23年に締結した浄水委託料単価1立方メートル当たり78円の金額が現在まで見直されていない。昨今の千歳浄水場の浄水にかかる電気料金、各種資材の値上がり分を室蘭市民だけが負担することでのよいのか。

〔答〕 水道料金の改定時など

に見直しを図るべきと認識しており令和2年の水道料金見直しに併せ委託料についても登別市と見直しの検討を進めてきたが改定に至らなかった。昨今の物価高騰の影響を踏まえ、委託料を据え置くことは困難であり、速やかに適正価格の積み上げを行い単価改定について強く申し入れる。



日本共産党室蘭市議会  
ときわい しげき  
常磐井茂樹

### 国の政治に対する市長の見解について

〔問〕 敵基地攻撃能力保有は専守防衛を投げ捨て、憲法に反する歴史的な暴挙との認識はあるか問う。

〔答〕 敵基地攻撃能力保有は、憲法などの範囲内での対応とされており、自衛の範囲内で適切に判断されると考えている。

〔問〕 GX脱炭素電源法は、原子力発電所の運転を永続化し、原発事故の反省と教訓を踏みにじるものと認識はあるか問う。

〔答〕 ロシアのウクライナ侵攻に起因する国際エネルギー市場の混乱や国内における電力需給の逼迫への対応など、電力の安定供給および脱炭素社会実現を目的に関連法の一部が改正されたもの。

〔問〕 マイナンバーカードをめぐるトラブルが続いているが、この事態の責任はどこにあると考えるか。

また、保険証との一体化は中止すべきでは。

〔答〕 トラブルの要因については、特定することは難しい。マイナンバーカードの取得は任意で保険証廃止後も必要な保険診療を受けられる対応を講じていくと聞いている。



### 市政方針について

〔問〕 総合病院の統合が地域医療圏に与える影響は。また市民不在の協議のあり方を改

めるべきでは。

〔答〕 ほかの医療機関への影響や削減ベッド数などの具体的な内容は今後の協議の中で検討する。協議の公開のあり方については、今後の協議の進捗を踏まえながら情報発信の方法や内容を検討していく。

〔問〕 ガソリンの漏えい問題で、北海道エネルギー、エネオスに対し損害賠償を求めるべき。

〔答〕 ガソリンの漏えいの責任は、エネオスなど事業者側にあり、これによる市の損害は、賠償・補填を強く求め、事業者側と協議を継続している。

### 教育行政方針について

〔問〕 教育の目的は、平和で民主的な国家および社会の形成者としての人格の完成である。この目的に対して平和教育をどのように行っているのか。

〔答〕 平和教育は、学習指導要領に基づくほか、戦争被害体験談が掲載された副読本の使用、争いごとの話し合いによる解決の指導など、教育活動全体で、平和意識の醸成を図っている。

## 質疑・一般質問

議員8人の質疑・一般質問  
および答弁から25項目を取り  
上げ、要旨を紹介しします。



市民ネット・むろらん  
いとう つとむ  
伊藤 勉

### 児童生徒等がスポーツに親しむ ことのできる環境づくりについて

〔問〕 小学生対象のスポーツ  
教室は、総合体育館が江町  
に移転した後も二階ズを満た  
しているか。

〔答〕 施設のスタッフや来館  
者への聞き取りなどにより  
二階ズを把握し、その声に応  
えられるよう努めていく。

〔問〕 学校開放事業において、  
体育館の暖房使用を許可する  
べきでは。

〔答〕 各学校の設備などの課  
題と、燃料費の受益者負担の  
考え方を整理し、可能な学校  
については検討していく。

### 除雪管理システム導入による 除雪体制の改善について

〔問〕 除雪管理システム導入  
により、どの程度除雪作業の  
管理が効率化したか。

〔答〕 市と除雪業者が除雪作  
業の情報をリアルタイムで共  
有でき、市民からの問い合わせ  
に迅速に対応できるように  
なったほか、職員の現地確認  
の頻度を減らすことができた。

〔問〕 除雪管理システムを市  
民に公開するべきでは。

〔答〕 システム上の不具合や、  
除雪時の市民の安全確保など  
の課題があることから、どの  
ような手法が良いか検討して  
いく。

### デジタル活用による町内会・ 自治会の活性化について

〔問〕 デジタル活用の成功例を  
伺う。

〔答〕 モデル地区で情報伝達  
が迅速になり、加入率がほぼ

100パーセントとなった。今後  
も必要とする地域での普及啓  
発を進める。

〔問〕 デジタル技術などを用  
いて、本市が目指す姿を伺う。

〔答〕 地域の実情に応じて、  
デジタルと紙媒体の選択や併  
用が必要となるが、若い世代  
が参加しやすい環境をつくる  
ことで加入の促進と活性化を  
目指す。

〔問〕 町内会費の集金業務に  
デジタル技術を用いる考えは。

〔答〕 まずは町内会・自治会  
の意向や導入効果などの把握  
に努める。



無 所 属  
こばやし ゆみ  
小林 由美

### 移住・定住促進と情報発信に ついて

〔問〕 移住・定住に向けての  
本市のまちの魅力発信につい  
て取り組み状況と展望を伺う。

〔答〕 子育て支援を含む各種  
行政サービスなどをまとめた  
ワンストップ型の移住促進サ  
イトを設置し情報発信してお

り、今後、市公式ホームページの更新に合わせ、スマー  
トフォンでも見やすくリニュー  
アルする予定。

〔問〕 市内の生活・企業情報  
の発信状況を定住促進につな  
げる考えについて伺う。

〔答〕 現在市内の情報をまと  
めた「移住促進動画」や「U  
ーJターン連携企業動画」を  
公開中、若年層の地元定着や  
将来的なUターン促進に向け  
て、市内の子どもたちにも発  
信していきたい。

### 安心・安全な学校給食の 取り組みについて

〔問〕 給食の産地を子どもた  
ちにわかりやすく周知する方  
法として、メニュー表に紹介  
ページの二次元コードを載せ  
たり、給食だよりで紹介する  
考えについて伺う。

〔答〕 学校給食の献立、アレ  
ルギー対応の情報を入手でき  
る本市の公式LINEに給食  
用食材の野菜産地情報に加え、  
給食センターだよりでも周知  
していく。

〔問〕 今後、第3子以降の給  
食費無償化をした場合の給食  
の品質確保に向けた方策につ

いて伺う。

〔答〕 学校給食費の設定に当  
たって、学校給食摂取規程に  
よる栄養価などを維持できる  
食材料を購入できるように算  
定しており、第3子以降の無  
償化を実施した場合も、無償  
化を実施しない場合と同様の  
食材料を購入できる財源を確  
保し品質の維持に努めていく。



### 新型コロナワクチンの 情報と周知について

〔問〕 厚生労働省のアドバイ  
ザリーボードや厚生科学審議  
会公表のこれまでに起きた新  
型コロナワクチン接種による  
副反応および副反応疑いの事  
例や死亡者数などの情報の周  
知に対する考えを伺う。

〔答〕 科学的根拠に基づいた  
正しい情報の確認、収集、提  
供に努め、ワクチンの副反応  
に関する相談には真摯に対応  
し必要に応じて国への申請に  
つなげていく。



和 結 市 政 小 澤  
悠 小 澤

### 人口減少対策について

〔問〕本市の移住支援金制度の利用実績と今後の見立ては。

〔答〕令和元年の制度創設以来、利用実績はなかったが、令和4年度に、市内専門学校入学者や、起業する人を対象に追加。今年度は子どもいる世帯への加算額を拡充するなど相談件数が増加し、複数件の利用が見込まれている。

〔問〕全国で令和4年度3月末までに任期が終了した地域おこし協力隊員の定住状況は全体の約65パーセントで、隊員の約7割が20〜30代と若者の利用が高い。医療・介護人材不足や従事者の高齢化に対し、介護予防コーディネーターなどの採用例があることから今後の募集内容の検討を行う考えは。

〔答〕過年度において、協力隊員を採用した履歴もあることから、今後、必要性や効果を精査し、分野を問わずに活用

していく予定。

### まちなかを活性化について

〔問〕子どもや若者世代の中央町商店街への誘客に向けて興味を引く取り組み、企画を学校や諸施設と連携強化していく必要があると思うが、見解を伺う。

〔答〕にぎわいづくりは、地域主体の取り組みが重要で商業者などによる自主的な取り組みに期待している。商店街などからの提案に対して庁内で情報共有し、市として協力できる部分は対応していく。

### 危険家屋の対策について

〔問〕住民からの空き家の通報状況と市の対応実績について伺う。

〔答〕令和4年度の住民からの通報などにより新たに把握した空き家の件数は118件。指導、勧告などを実施した件数は37件。指導・勧告実施する以前の適切管理願いの助言などを含めた働きかけにより何かしらの対応がなされた件数は128件。

〔問〕地域福利増進事業制度を活用するなど空き地の今

後の進め方について伺う。

〔答〕地域福利増進事業は、地方公共団体や民間企業、NPO、町内会など誰でも都道府県知事に裁定を申請し所有者不明土地を福祉や利便増進のための事業に活用できる制度。今後も事業希望者の相談に応じ支援を行っていく。



市議会 室蘭 公明党  
忠 広 ただひろ  
西 岡 にしおか

### 避難場所について

〔問〕災害時において、避難所の開設状態や混雑状況が把握できる情報配信サービス※VACAN（バカン）をどのように市民周知していくか。

〔答〕今後、地震津波訓練や防災イベント、地域で開催される行事などを活用するなど、市民啓発の取り組みをさらに進めていく。

### 観光需要の促進について

〔問〕道の駅「カナスチールみたら室蘭」周辺が本市の観光地として拠点化している。

室蘭民報みんなの水族館の貸切利用やRVパーク利用者へのサービス拡充など今後の集客増に向けた考えは。

〔答〕集客拡大について、温泉施設、RVパーク、エンルムマリーナ室蘭、白鳥大橋、祝津埠頭、旧絵鞆小学校、リーラスフットボールパークなどとの相乗効果を図りながら、祝津・絵鞆エリアの集客につながるよう、関係機関などと連携するとともに、民間活力による水族館のあり方検討においても、集客について検討する。



道の駅「カナスチールみたら室蘭」周辺

### 日の出町周辺の交通について

〔問〕イオン室蘭店移転予定地の周辺道路の整備に関して、用地買収の可能性はあるか。

〔答〕新たに用地買収を行わ

ずに、現在の道路用地の範囲内での改良とする予定。

### 安心・安全な水道水の供給について

〔問〕危険物保管施設の点検は、高砂町のガソリン漏えい問題を受け、再び同様の事案を発生させないためにも、厳格な審査のほか、定期の立入検査時に消防署員による漏えいの目視確認機会を増やすなどさらなる対策が必要では。

〔答〕今後も危険物保管施設への立入検査などにより、定期点検の実施状況を確認するほか、地下貯蔵タンクから危険物漏えいの有無が判別できる漏えい検知管を用いた点検を実施させること、在庫量を示す受け払い簿に異常な値がないかなど、危険物保管施設が適切に維持管理されていることを確認する。

### 【用語解説】

※VACAN（バカン）  
：災害発生時に市内の避難所の開設・混雑状況をわかりやすく把握できる情報サービス。





無 所 属  
はだち のりひろ  
羽立 典弘

### 旧絵鞆小学校のさらなる活用について

〔問〕 旧絵鞆小学校の円形校舎について、2棟一対の円形校舎が残ることとなったが、その後有効な活用策が無く、現在に至っている。校舎棟については、縄文遺跡の収蔵展示を実施しており、市民団体が市から委託を受けて、管理を行っているが、本事業への市の評価を伺う。

また、さらなる活用方法として、閉校した小中学校の校歌などを展示する考えは。

〔答〕 旧絵鞆小学校を活用した縄文遺跡収蔵展示を含む校舎棟の管理業務委託に関する本市の評価については、縄文文化などの普及事業を通し子どもたちへの歴史体験機会の創出のほか、市外からの来場者への室蘭のPRなど市民団体の努力により、多くの来場者に喜ばれていると評価している。

校歌などの展示については、市民美術館関係者より企画展として一時的な展示について検討されていることから、展示に対する来館者の反響などを踏まえて検討していく。

### 町内会・自治会の活性化について

ついて

〔問〕 町内会の加入率は、昭和63年の94・5パーセントをピークにその後は減少傾向にあり、令和4年は58・3パーセントとなっている。この状況が続いていくと、存続自体が難しくなる町内会が増えていくことが危惧される。本市の町内会・自治会活性化基本方針の策定までの経過と、各町内会の意見がどの程度反映されているのかについて伺う。



〔答〕 町内会・自治会活性化基本方針の策定経過について、町内会・自治会の活性化に向

けた方策の検討を目的に、令和3年12月に町内会や企業、まちづくりなどの関係者によるワーキンググループを立ち上げて、5回の会議を経て策定している。また、会議の委員として町内会関係者も5人参加しているほか、町内会に対するアンケートの実施などにより意見の反映に努めている。



日本共産党室蘭市議団  
わたなべ ふさよ  
渡辺 房代

### 子どもたちと教員が向き合う学習環境の推進について

〔問〕 子どもの成長のためには、少ない人数で指導が行き届くようにすべきでは。30人学級にすると35人学級と比べて何学級増えるか。

〔答〕 30人学級にした場合、小学校は17学級増の見込み。

### 確かな学力の育成について

〔問〕 確かな学力の育成のためには子どもの理解力に合わせた細かな指導や支援が欠かせない。どのようにしたら基

礎的なことを習得させ確かな学力をつけることができるか。

〔答〕 確かな学力は、発達段階を踏まえた系統的な教育を進めていくことで育成していく。ICT機器を効果的に活用し、教員が一人一人としっかり向き合う学習指導を進める。

### 教員の長時間勤務の解消について

ついて

〔問〕 教員の負担軽減というなら、1クラスの人数を減らしていくことが良いのでは。

〔答〕 来年度小学校で35人学級となる。教師や支援員の目が行き届く学校体制の整備に努め、少人数学級の確立について国や北海道の動向を注視し、引き続き要望していく。

### だれ一人取り残すことのない教育の推進について

〔問〕 不登校になる前に子どもに寄り添った支援ができれば、不登校にならない子どもがいるのではないかと。相談できるようにスクールカウンセラーや心の教室相談員がいるが、配置時間と相談件数は。

〔答〕 スクールカウンセラー

は道からの派遣、全中学校に配置。学校規模に応じ年間80〜135時間程度。心の教室相談員は、大規模小学校と全中学校計12校に週1〜2回、1日4時間、市費で配置。相談数は、昨年度スクールカウンセラーが約400件、心の教室相談員は約400件。カウンセラー室への訪問は年間延べ4千700人。スクールカウンセラーについて北海道教育委員会に配置時間などについて要望していく。

〔問〕 通常学級にいる発達障がいなどの児童生徒を支援する支援員の配置基準と人数は。

〔答〕 通常学級の支援員の配置基準は、児童生徒数が40人未満の学校に1人、40人以上の学校に2人。19人を配置。



市政 結 和  
ひぬま じゅんこ  
日沼 順子

### 新型コロナウイルスの検証について

〔問〕 2020年からの感染者数、死亡数、重大な副反応

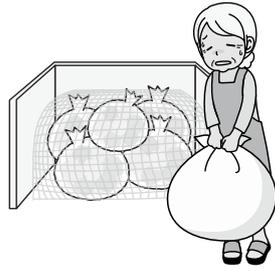
数、ワフチンの接種率、ワフチン接種の優先順位、接種会場の人員配置、専門職の招集など、どう評価しているか。また緊急対応の体制について問う。

**【答】** 全国の感染者数の累計は5類移行前までで3千380万人、死亡者数は7万4千694人。本市は令和2年3月30日から令和4年9月26日まで8千528人。全数届け出見直し後の9月27日から5月7日までの市内医療機関からの発生届は2千183人。死亡数は公表されていない。重大な副反応については、集団接種会場では救急医薬品を常備し、アナフィラキシーショックに備え、エピペンを常備しているが、使用例はなかった。ワフチン接種率は6月14日時点で初回接種終了者は90・9パーセント。65歳以上の高齢者は95・5パーセントでほかの年代より高い接種の優先順位は国の指示に従ったが大きな課題と考えている。今後も国や道と連携を密に取り組み、今回の経験を今後活かす継承していく。

### ごみ出し対策について

**【問】** ごみ出しに支障があり、戸別収集を利用している人の現状と今後の課題について問う。

**【答】** ごみの戸別収集の対象世帯は今年度当初90世帯。過去5年間の実績では平成31年の75世帯から徐々に増加している。当面は対応可能だが、急激に増加した場合は対応困難となることも考えられる。引き続き委託業者と共通の認識を深めるとともに今後社会福祉協議会の有償ボランティアなどと相互に連携し対応していきたい。



### 介護職の環境整備について

**【問】** ケアマネジャーの業種では新人が入ってこない。平均年齢は50歳となっている。業務内容に見合う賃金ではないなど人材確保が困難となっ

ている。ケアマネジャーの現状と課題に対する対応について問う。

**【答】** 5年前と比較してケアマネジャーの総数は2名減少し、年齢は半数が50歳以上となっている。高齢化、人材不足の進行が懸念される。対応については困難事例への自立支援型地域ケア会議の実施、3年未満のケアマネジャーへの研修などケアマネ支援を強化している。引き続き全国市長会などを通じた処遇改善要望を行っていく。



### ハラスメント対策について

**【問】** ハラスメント対策の徹底は、被害者救済や職員の労働環境の改善はもとより、市民から信頼される市役所あり方としても極めて重要である。条例を制定している自治体もあるが、本市として条例制定に向けた考えは。また、専門性を有した外部相談員の設

置や当事者以外からの情報提供も含め、匿名での相談を可能とする体制整備を行うこと

によって、実態把握にも努めるべきと考えるが、本市の見解を問う。  
**【答】** 現時点では、条例制定の必要性は低いものと考えているが、その効果や必要性も含め、今後の動向を注視したい。相談体制については、匿名での相談を可能にし、状況に応じ産業医や顧問弁護士にも協力いただくなど、整備を進めたい。

### スクール児童館について

**【問】** スクール児童館の開設時間は8時、保育所は7時30分のため、小学校進学により、朝の預かり時間が30分遅くなる。また、保育所の園児と小学生の兄弟がいる家庭では、開設時間に30分の差があるため、利用しにくい状況にある。子育て支援策の推進と働きやすい環境整備の観点から、開設時間を朝7時30分に延長すべきと考えるが、見解を問う。  
**【答】** 必要な財源のほか、支援員の確保や労務負担増加などの課題も考慮し、今後検討を

進めたい。

### 防災対策の効率化について

**【問】** 要支援者の個別避難計画作成に向け必要となる要支援者名簿などの作成は、情報を取り扱う保健福祉部に業務を移管することで効率化が図られると考えるが、見解を問う。

**【答】** 平時から要支援者との関わりのある部署において、名簿などの作成を行うことは効率的であると考えられる。関係部署と協議したい。

**【問】** 立地適正化計画の改定に合わせて防災指針を新たに作成するが、関係部署が連携することで地震防災対策推進計画策定の効率化が図られると考えるが、連携の考えは。  
**【答】** 津波対策において検討する内容と重複するものがある。関係部署と連携を図りながら、計画の策定に努めたい。





らいとあっぷ

## 無投票当選

今年4月の統一地方選における本市の市議会議員選挙は、戦後初となる無投票当選となりました。我々議員は有権者の信任を得ていない事を深く自覚し、これからの4年間で市民の皆様の信任を得られるよう職務を全うする決意です。

市議会は二元代表制の一翼を担う機関であり、市長が提案する各種計画や条例、予算などを議会として審議し、また多様化・複雑化する幅広い市民意見を取りまとめ提案するなど、お互いに対等な立場に立って議論を重ねながら、本市発展のために取り組む重要な役割を担っています。

一方で、全国的に「地方議員のなり手不足」が叫ばれており、市民が議員を選挙で選べないことは、住民自治の根幹に関わる深刻な事態であると言えます。議員のなり手が少ない要因としては「住民の議会に対する関心低下」「立候補の環境が整わない」「経済的、時間的な問題」などさまざまな原因があると多くの識者が指摘しています。

我々議員一人一人が「議員としてのあるべき姿」をこれからも探求し続け、一歩前進の毎日を歩んでまいります。

## 市議会ホームページをぜひご覧ください！

室蘭市役所ホームページ ⇒ [「市議会ホームページ」](#)  
[「議会議中継」](#)

※本会議及び委員会がライブ中継または録画放送でご覧いただけます。  
スマートフォン、タブレット端末からも閲覧できますので右の二次元コードからアクセスしてください。



## 令和5年第3回室蘭市議会定例会 会期（予定） 9月11日（月）～10月6日（金）

※会期の決定および日程の詳細につきましては、9月7日（木）開催予定の議会運営委員会終了後、市議会ホームページ〔議会日程〕に掲載いたします。

## 編集後記

改選後初となる定例会が開催され、4会派による代表質問と新人議員7人全員を含む8人が質疑・一般質問のため登壇し、4期目の青山市政が目指す「住み続けたいまち室蘭」への取り組みについて、真剣で活発な議論が交わされました。

本任期は公共施設の存廃や人口減少対策など、その先の本市のあり方を決定づける重要な4年間となります。市議会は市民が求める声を的確に行政に届けられるよう、より市民に身近で頼られる存在を目指して、今後さらに精進してまいります。

（西岡）

令和5年第1回臨時会議決結果			会期：令和5年5月11日（木） （1日間）
番号	件名	議決結果	
	議長の選挙	当選	（早川昇二議員）
	副議長の選挙	当選	（砂田尚子議員）
	西いぶり広域連合議会議員の選挙	当選	（早川昇二議員） （高橋直美議員） （常盤井茂樹議員） （柏木隆寿議員）
議案第1号	室蘭市特別職の職員の給与に関する条例中一部改正の件	原案可決	
議案第2号	室蘭市特別職の職員の給与に関する条例中一部改正の件	〃	
議案第3号	室蘭市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例中一部改正の件	〃	
議案第4号	工事請負契約締結の件（入江運動公園陸上競技場第2種公認更新改修工事）	〃	
議案第5号	監査委員（議員選出）の選任について同意を求める件	同意	
議案第6号	副市長の選任について同意を求める件	〃	
議案第7号	固定資産評価員の選任について同意を求める件	〃	
議案第8号	室蘭市議会委員会条例中一部改正の件	〃	
報告第1号	専決処分について承認を求める件（令和5年度室蘭市一般会計補正予算（第1号））	承認	
報告第2号	専決処分について承認を求める件（室蘭市税条例及び室蘭市都市計画税条例の一部を改正する条例）	〃	

令和5年第2回定例会議決結果			会期：令和5年6月5日（月）～ 6月28日（水） （24日間）
番号	件名	議決結果	
議案第1号	令和5年度室蘭市一般会計補正予算（第2号）	原案可決	
議案第2号	令和5年度室蘭市水道事業会計補正予算（第1号）	〃	
議案第3号	室蘭市事務分掌条例中一部改正の件	〃	
議案第4号	室蘭市税条例中一部改正の件	〃	
議案第5号	室蘭市墓園条例及び室蘭市墓地条例中一部改正の件	〃	
議案第6号	こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定の件	〃	
議案第7号	室蘭市火災予防条例中一部改正の件	〃	
議案第8号	室蘭市都市公園条例中一部改正の件	〃	
議案第9号	室蘭市建築基準法施行条例中一部改正の件	〃	
議案第10号	室蘭市営住宅条例中一部改正の件	〃	
議案第11号	財産取得の件（議場音響設備及び委員会中継システム）	〃	
議案第12号	財産取得の件（高規格救急自動車）	〃	
議案第13号	工事請負契約締結の件（令和5年度東町たいわ団地市営住宅建替建築その1工事）	〃	
議案第14号	工事請負契約締結の件（令和5年度東町たいわ団地市営住宅建替建築その2工事）	〃	
議案第15号	工事請負契約締結の件（令和5年度東町たいわ団地市営住宅建替建築その3工事）	〃	
議案第16号	室蘭市議会議員の請負の状況の公表に関する条例制定の件	〃	
意見書案第1号	地方財政の充実・強化に関する意見書	〃	
意見書案第2号	教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書	〃	
意見書案第3号	2023年度北海道最低賃金改正等に関する意見書	〃	
意見書案第4号	特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置を求める意見書	〃	
意見書案第5号	薬剤耐性菌感染症の蔓延防止への取組体制の強化を求める意見書	〃	
意見書案第6号	教員不足と長時間過密労働解消のために、定数改善による正規教員増を求める意見書	〃	
意見書案第7号	学校給食の無償化を求める意見書	〃	